

早稲田大学 スポーツ科学部 小論文 講評

〔総合分析〕

出題形式	課題文読解型
試験時間	90分
特徴・その他	約2000字のエッセイ風の課題文を読み、「思うところ」を801字以上1000字以内で述べる。「思うところ」の部分が特徴的。

〔大問別講評〕

出題内容	コメント	難易度
課題文読解型 課題文は評論というよりエッセイに近い。	課題文が少々主観性が強く、エッセイ風である点が、例年とちがっている。また、設問の条件が「思うところを述べよ」となっている点も特異である。受験生は戸惑ったことと思うが、このような時でも、あくまで「小論文」の試験であるということを忘れてはいけない。課題文がエッセイ風であるからといって、自分の個人的体験をダラダラと書いていくような、幼稚な（中学生のような）作文を書くことのないようにしたい。今回は、そのような答案が多数派になったことと思うが、「論じる」姿勢の欠けたそのような答案が低レベルの評価しか受けないのは明白である。あくまで課題文中のキーワードを把握し、そこから論じることが大切である。	標準レベル

〔総合コメント〕

<p>今回のような特殊な問題においても、日頃の問題意識・訓練がものを言う。何が課題文の中心ポイントなのか、スポーツとは何か、自分はなぜスポーツ科学部を志望するのか、日々考え続けている受験生は、このような問題でも動揺しなかったであろう。その点で、今回の問題は、さまざまな批判もありえようが受験生の根本的实力を問う良問であったといえよう。課題文をもとにして、自分のスポーツへの熱き思いをいかに論じるか、そこがまさに勝敗の分かれ目であったと思う。くりかえしになるが、あくまで「論じる」点を忘れないようにするべきである。</p>
--